

某MS 10 | 8 SBC

SBC開幕戦 10失点で惜敗！

平成28年4月16日、東邦スタジアムにてSBC対某MSと今季の開幕試合があった。

試合開始前はSBC選手のほとんどが、練習不足であり、久々の試合であったためぼろ負けになると予想していたが、不思議なもので某MSさんとは毎回接戦になり、終わってみれば今回もまたお互いが良い試合だったと称え合う結果となった。

今季も主役は4番(石神)？

一打席目・二打席目といずれも初球を叩きライトフェンスを越えるホームラン。これには敵チームからも歓喜の声があがるぐらい見事なホームランであった。・が、しかし、10対6のビハインドで迎えた最終回、SBCは2点を取り 後が無いツアアウト満塁 絶体絶命！

しかしドラマが待っていた。本日 絶好調男の4番石神に回ると言う手に汗握る最高の盛り上がりを見せた。

・・・結果は、大声援 空しく平凡なあたり●ファーストゴロで試合終了。やはり主役だ！

開幕から絶好調！ 監督(木原)

いや、今季の主役はオレだー。と言わんばかりに開幕戦でなんとツーベース2本を含む3安打・1ファールボールの猛打賞。出塁率10割。日ごろ道具を大事にする監督に野球の神様が舞い降りたのか。それとも影の努力か。それとも〇〇〇だったのか。それは、今後の試合で分かるだろう。えうご期待！
最年長選手にも関わらず、フル出場し塁間を走り回れる体力は本当に賞賛できる。

今回の総



打撃の方は、繋がりにや出塁率の高さにより8得点も奪うことができ開幕にしては上々の成果ではないだろうか。

一方、投手だが、右のエース(床島)は初回こそ不安定だったが、さすがベテラン3回を1失点の上々のピッチングであった。が、しかし、2番手の左のエース(富永)は、4回を9失点と大乱調。開幕戦ということに感覚のずれを調整できなかったということにしておこう。右のエース(床島)のように調子が悪い場合でも大崩しないピッチングができるようになることを期待したい。



3安打(猛打賞)の木原監督

ホームランで颯爽とサードベースを回る4番石神

打順	守備	氏名	打席	安打数	打点	四死球	出塁
1	左	外林	5	1			1
2	遊	櫛間	5	0		1	1
3	中	富永	5	1	1	2	3
4	捕	石神	5	2	3		2
5	投	床島	4	1		1	2
6	三	木原	4	3		1	4
7	一	日高	4	2	1		2
8	右	西田(悠)	2	1	1	1	2
9	二	大野	2	1	1		1
		河野(哲)	2	1			1
		押川	2	1	1		1

[試合結果]

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
某MS	1	0	0	3	4	2	0	10
SBC	3	0	2	0	1	0	2	8

[投手成績]

* 床島→富永

氏名	投球回	奪三振	失点
床島	3回	?	1
富永	4回	?	9

SBCメンバー募集中！

○次回の試合は、紅白戦を予定しています。
☆ これからも皆様の応援よろしくお願い致します ☆